

第33回在宅ケア懇談会

新しい認知症観を学ぼう！



いつまでも安心して暮らせる共生のまちづくりを目指して

どなたでも受講いただけます

📍 認知症ケア専門士単位: 3単位

当会は、1991年12月にスタートし、毎年、在宅医療・福祉の連携と推進を目指して静岡県西部地域各界の皆様が協力して市民に向けての講演会と懇談会を開催してまいりました。認知症基本法に示された「認知症を自分ごととして考え、早期発見と対応によって認知症を恐れることなく、希望をもって生活できる街づくり」を目指し、今年も宮嶋裕明先生のご講演と「認知症サポーター養成講座」を開催いたします。私たちの住む浜松は、認知症になっても安心して暮らせる共生のまちになることを目指しています。

認知症サポーターは、全国に1700万人を超える方々が誕生しています（令和8年3月末現在）。認知症予防の秘訣も、これからの生活のためにご講演いただきます。

◎プログラムの概要

受付 12:30～ 開始 13:00～ 講座 13:30～17:00

～開催にあたって～ 13:00～13:30

第1部 認知症最新医療 13:30～15:00

-認知症の考え方と最近の話題-

講師：宮嶋 裕明 先生

(天竜厚生会診療所所長、浜松医科大学名誉教授)

座長：大城 一

(浜北RC・在宅ケア懇談会実行委員長)

～休憩～ 15:00～15:10

第2部 認知症サポーター養成講座 15:10～16:40

-認知症の正しい理解と支援の輪-

講師：奥山 恵理子 先生 -認知症サポーター養成講師-

(全国認知症ケア専門士会会長・パワー浜松RC)

座長：大城 一 (浜北RC・在宅ケア懇談会実行委員長)



～質疑応答～ 16:40～17:00

座長：志村 孚城

(在宅ケア懇談会会長・日本早期認知症学会 名誉理事)

●●● 認知症サポーターに期待されること ●●●

- ① 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
- ② 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
- ③ 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。
- ④ 地域でできることを探し、相互扶助・協力・連携、ネットワークをつくる。
- ⑤ まちづくりを担う地域のリーダーとして活躍する。

◎受講申し込みについて

QRコードからお申し込みください。【申込み締切日：令和8年11月30日】

または裏面の申込書にご記入の上、053-588-4128 にFAXしてください。

令和8年

12月5日(土)

受講無料：定員200名

●会場：なゆた・浜北 3F なゆたホール ☎053(586)6200



- 主催：第33回在宅ケア懇談会実行委員会
浜北ロータリークラブ
- 協力：パワー浜松ロータリークラブ
- 後援：浜松市・浜松市医師会・浜松市浜北医師会
浜松市社会福祉協議会・日本認知症ケア学会
日本早期認知症学会・静岡県介護支援専門員協会
浜松市介護支援専門員連絡協議会
J A 静岡厚生連遠州病院・(医) 遠江病院
(福) 大善福祉会・(福) 遠州秋葉会・(福) 茗翠会
公社) 認知症の人と家族の会静岡県支部
浜松RC・浜松東RC・浜松西RC・浜松南RC
浜松北RC・浜名湖RC・浜松中RC
浜松ハーモニーRC・浜松志耀RC・浜北伎倍RC
(順不同)



受講申込書

講座名：新しい認知症観を学ぼう！いつまでも安心して暮らせる共生のまちづくりを目指して

開催日時：令和8年12月5日（土） 受付12：30 開始13：00 終了17：00

場所：なゆた・浜北 3F なゆたホール

受講者をご記入の上、この面をFAXしてください。申込み締切日：令和8年11月30日

なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

また、感染対策として体調不良や発熱等がある場合は参加を控えていただき、

当日はマスクの着用をお願いします。

FAX: 053-588-4128

●所属団体名・校名等：_____

●連絡先電話番号：_____

申込日：令和8年 月 日

職種または学年	お名前	ご住所
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒
		〒

※第2部の受講者には「認知症サポーター養成講座標準テキスト」と「オレンジリング」を配布いたします。

※個人情報の取り扱いについて：本会の準備のために主催関係者のみで使用し、第三者に提供することはありません。

※8名以上の場合はコピーしてご利用ください。

◎連絡先・お問合せ先 Tel：053-588-4138 平日 9:00～17:00

「第33回在宅ケア懇談会実行委員会」事務局担当：宮本、大城、本間 E-Mail：a_miyamoto@totomihp.com
〒434-0012 静岡県浜松市浜名区中瀬3832-1 遠江病院内